

平成24年第2回定例会
主な審議案件と議決結果

審議案件		議決結果
条例 1件	住民基本台帳法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
予算 4件	平成24年度合志市一般会計補正予算(第1号) ほか 3件	原案可決
同意 3件	合志市固定資産評価審査委員会委員の選任 ほか 2件	原案同意
承認 2件	専決処分(合志市税条例の一部を改正する条例)の承認 ほか 1件	原案承認
その他 2件	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更 ほか 1件	原案可決
報告 6件	平成23年度合志市一般会計繰越明許費の報告 ほか 5件	報告終了

賛否表

- 議案第34号 住民基本台帳の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
- 議案第37号 平成24年度合志市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第38号 平成24年度合志市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第39号 平成24年度合志市下水道特別会計補正予算(第1号)
- 議案第40号 平成24年度合志市水道事業会計補正予算(第1号)
- 承認第1号 専決処分(合志市税条例の一部を改正する条例)の承認

	議席番号																						
	結	表	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	果	決	西	松	後	濱	上	青	坂	尾	濱	坂	吉	神	来	木	松	木	今	丸	東	島	
		数	島	本	藤	元	田	木	本	方	口	本	永	田	海	場	井	村	村	内	孝	田	
			隆	龍	修	幸	欣	照	早	洋	正	武	健	公	恵	田	美	直	直	三	助	敏	
			博	一	一	一	也	美	苗	直	曉	人	司	司	子	孝	津	登	登	千	孝	春	
			博	一	一	一	也	美	苗	直	曉	人	司	司	子	孝	津	登	登	千	孝	春	
議案第34号	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	可決	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第1号	可決	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※起立採決を行ったものに限ります。(○は賛成 ●は反対)
※池永幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。

合志市の立ち位置とこれからについて!

濱口正暁議員



濱口 平成24年度の予算が決まり、4月の機構改革も実施されメインテーマの「健康都市こうし」が進められています。このことで健康づくりを進め、医療費の削減を図るための重点策は何か。

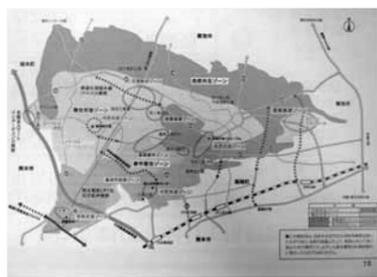
健康づくり推進課長 健康になろう事業として菊池養生園と提携して「健康づくり教室」を各地域へ出向いての出前講座、または来園して貰うての健康指導を行うこと。次に新しい取り組みとして保健師を含む3人体制で健康企画班を設置し、医療費削減に向けた種々の事業を行う。

濱口 稼げる市として財政健全化のために取り組んでいるもの、また土地利用計画と生産人口流出防止のための「雇用の拡大策」、更には市民も巻き込んで協力してもらいながら進める事業等は考えられているのか。

政策部長 稼げる市をつくるための方策として産学官連携のための取り組み、そして大学、企業との包括協定を逐次結んでいる。合志市の魅力である農業、これと食それから医療

を融合させ、そこから生まれる6次産業への取り組み、こういった新しい産業をつくっていく健康ファクトリー構想を計画している。また合志市民の購買力は年間520億円あると見込まれるが現在市内に落ちる金額は260億円で、半分が市外へ流出している。この解決策としては土地利用に対する規制緩和が必要で、これが進めば商業店舗の立地それに付随して雇用の創出もされる。それを議会、市民いっしょになって進めたい。

市長 年々財政が厳しくなるので官主導の民間開発という民の予算を投入し、さらに、観光、金融、新しい産業、新しい地域づくりのために「チーム宝箱」的なシンクタンクを設置したい。



合志市土地利用構想図

子どもたちに健やかな未来を!!

今村直登議員



プッシュバイクの活用で子どもたちの体力増強を

今村 NHKで幼児がペダルのない自転車(プッシュバイク)で遊んでいるのを見た。これは平衡感覚の発達、身体能力、運動能力の向上に役立つ。将来の医療費削減にもつながる。保育園と協議して勧めたい。

子育て支援課長 現状では、各保育園で基礎体力をつけるため、体操教室をやったりとそれぞれの園で体力づくりに努めておられます。それぞれの園の独自性で対応をしていただきたい。

今村 プッシュバイクは、子どもが楽しむものですが、実は大人、親も熱中する。部品が好みに合わせて取り付けられる。親子の触れ合いの時間が増える。一石二鳥にも三鳥にもなる。保育園と協議するくらいはできないうか。

健康福祉部長 いろいろ問題もありますが、園長会等で検討させていたきたい。

総務課長 正職316人、嘱託251人です。

今村 4割が嘱託職員では、大災害のとき、対応できるのか。

総務課長 防災計画の中には、嘱託職員の役割はない。正職員で対応する。

今村 嘱託職員の能力を活かすためにも、政策提案等できるのか。

総務課長 嘱託職員は専門性を持った人がたくさんいます。業務上では、当然反映されています。

今村 民自公の三党合意で、質問通告時点と現在では内容が変わった。合意後の問題点を把握しているか。

健康福祉部長 「新システム」では、幼稚園と保育園が合体した、総合子ども園ができると思っていたが、最終的には法的な整合性がとれなくて断念した、合志市の場合、色んな意見はあるが、より安全に、安心して保育が受けられる環境づくりに努力したい。

市職員の現状について

正職員と嘱託職員の数は、